

学チカ（学生時代、力を入れたこと）は本来、何をしたか事実を羅列するのではなく、なぜそれをやろうとして、それによってあなたが何を得たか、どう成長したかを伝えます。

しかし、200～300字程度の場合、事細かくすべてを書くことはできませんよね。

特にタイトな字数制限の場合、おそらく企業側には面接に臨むにあたって、エピソードの大枠を聞いておいて、面接で深掘りするという意図があると思われます。

その意図を踏まえた上で、エピソードの核となる

- ①結論（何をしたか）
- ②目標や困難
- ③取り組みと結果

について重点的に書き、あえて自分の想いや考えといった内面的なことは記述せずにエピソードの概観を伝えることに終始する。詳細については面接で話すと割り切るのも一つの方法だと思います。

《迷った時は新卒応援ハローワークにご相談下さいね！》